



## 学術情報サービスの背景と認証基盤の現状と期待

- OpenIDとLifeLogでサービスを広げよう！！ / 図書館の見地から -



2009年2月23日(月) UPKIシンポジウム2009

慶應義塾大学メディアセンター本部 システム担当

システムライブラリアン 田邊 稔

[tanabem@lib.keio.ac.jp](mailto:tanabem@lib.keio.ac.jp)



KEIO 150  
Design the Future

# 私立大学（主に慶應義塾大学）図書館を取り巻く環境



# 電子ジャーナル問題検討委員会の発足（準備中） ～危機感は最高潮に



年5%ずつアップしていく版元の理不尽なビジネスモデル

- Elsevier、Springer、Wileyなど

S T M系では、プリントキャンセルの限界

- 電子オンリー化しても解消しない
- 人社系にもツケが回り、プリントが買えなくなる

研究環境や教育環境が乏しくなる

- 留学生が集まらない、学力低下を招く

対抗手段はもはやPULCコンソーシアムでは立ち行かない

学内の力を結集し、理論武装し、対策を講じる構え

- 「職員だけに任せておけない」と各学部の教員も参画
- 対『版元交渉団』を結成する等 . . .



## ロングテール

目録データすらない古い資料の遡及  
全所蔵データをデジタル化？

図書館の書誌・所蔵データと『インターネットの親和性』  
データを浮かせて、人からもロボットからも見つけ易くする

一般流通資料と各大学オリジナル資料の棲み分け  
目録データ作成に掛ける手間などを差別化・ウエイト付け  
公開ドメインのセグメント化、有料化（収益モデル）

## 各大学の強みを生かす

貴重書、個人文庫などの特殊コレクションにフォーカス  
様々な機会を利用して学会や研究者への働きかけ



## 『図書館不要論』

- GoogleやAmazonなど巨大クラウドの台頭
- 出版と流通が個人レベルに
- 「情報仲介業」の限界
- オープンアクセス化
- 国内学会誌が海外出版者の手に
- “ペイ・パー・ビュー”モデルへのシフトチェンジ

## 『セマンティック・ハブ』

- 図書館をハブとした、研究者、学会、研究者コミュニティ、出版者とのコラボレーション

## 『セマンティック・フィルター』

- 図書館員の知と経験を生かした、多面的フィルタリング
- 利用者のコンテクストに沿った情報提供



## コンテンツの性質に応じて公開セグメントを分ける

- パブリックドメイン  
誰でも自由に利用できるコンテンツ群
- 認証ドメイン  
Keio.jpやShibbolethと連携したパーソナル認証コンテンツ  
NAREGIのようなグリッドによるオブジェクト認証コンテンツ

## 慶應で出版されたデータに一意的IDを付与

- 図書館でハンドルサーバを立ち上げる
- ハンドルとは、電子ジャーナルでいう「DOI」

# シボレス化するためのインセンティブは？



- 文科省などの補助金が獲得しやすくなる？
- シボレスを前提としたサービスを考えてみる
- 大学間の競争力が増す？
- 私立大学では「横並び」は許されない
- ICT：特色ある学習支援環境の整備が急務
- 国家的な学術情報インフラとして位置づけられるか？
- 国策として、国力アップのための研究・教育戦略を考えるべき
- コアコンピタンス（強み）とドメイン（立ち位置）を決める
- 何で戦うか？どこで戦うか？
- インフラは共有化、サービスは差別化
- セッション内の行動記録が一元的に取得できる
- 知的利用行動がライフログのように丸ごと記録可
- Open IDが使える、ケータイやiPhone3Gでも使える
- Google世代、ケータイ世代の学生にフォーカスする



## 慶應義塾の全学統合認証サービス

- 慶應で一意的ID
- シングルサインオン ( SSO )
- 学部生、院生、教職員に配布 ( 非常勤者へも逐次配布中 )

## Keio.jpで利用できる図書館サービス

- 図書利用状況照会 ~ 貸出・予約・未収金
- E J / D B リモートアクセスサービス ( KRAS )
  - 学部生・院生 ( 正規生 ) と教職員 ( 常勤 ) のみ利用可
  - 非常勤教員や訪問研究員などからも強い要望あり
- 今後のサービス展開
  - 次期システムのマイライブラリ機能との連携



# 認証付きコンテンツへのアクセスの実装イメージ（例）



## EJ-OPAC

検索 検索 検索 パッケージ別 出版社別 主題別

慶應義塾大学 電子ジャーナル パッケージ別 [\[利用規約\]](#) [\[使い方\]](#) [\[パッケージリスト\]](#) Page for "Remote" Campus

パッケージ:   表示: ページ単位  表示: すべて 利用場所指定:

CiNii Subscribe 369 titles. Page:

- Acoustical science and technology, - The Society, [\[OPAC検索へ\]](#)  
[CiNii Subscribe](#)
- Acta histochemica et cytochemica, - Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry, [\[OPAC検索へ\]](#)  
[CiNii Subscribe](#), Available from 1968 volume: 1 issue: 2.
- Advances in exercise and sports physiology, - Japan Society of Exercise and Sports Phys, [\[OPAC検索へ\]](#)  
[CiNii Subscribe](#), Available from 1994 volume: 1 issue: 1.
- APCFs & ATEM, -, [\[OPAC検索へ\]](#)  
[CiNii Subscribe](#), Available in 2001.
- Applied entomology and zoology, - Japanese Society of Applied Entomology and Zoology, [\[OPAC検索へ\]](#)  
[CiNii Subscribe](#), Available from 2008 volume: 43 issue: 1.

パーソナル認証  
と  
オブジェクト認証

## Keio.jp認証

Keio University 慶應義塾大学メディアセンター  
リモートアクセスサービス

KeioID  KeioIDとは  
Password

本サービスを利用するにはkeio.jpによる認証が必要です。

慶應義塾大学メディアセンター 本館 リモートアクセスサービス (krs\_support@mediaserver.keio.jp) (help@keio.jp)

## 電子ジャーナル

CiNii ログアウト

HOME > 一覧から探す > 日本組織細胞化学会 > Acta histochemica et cytochemica

Acta histochemica et cytochemica 日本組織細胞化学会 ISSN : 0044-5891 / 0044-5891

巻(号) [出版年月日]	本文提供条件
<a href="#">40(1-6)</a> (20070000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">39(1-6)</a> (20060000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(6)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(5)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(4)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(3)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(2)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>
<a href="#">38(1)</a> (20050000)	<a href="#">定額購付誌</a>

認証後、属性情報  
をマッピングし  
利用資格チェック



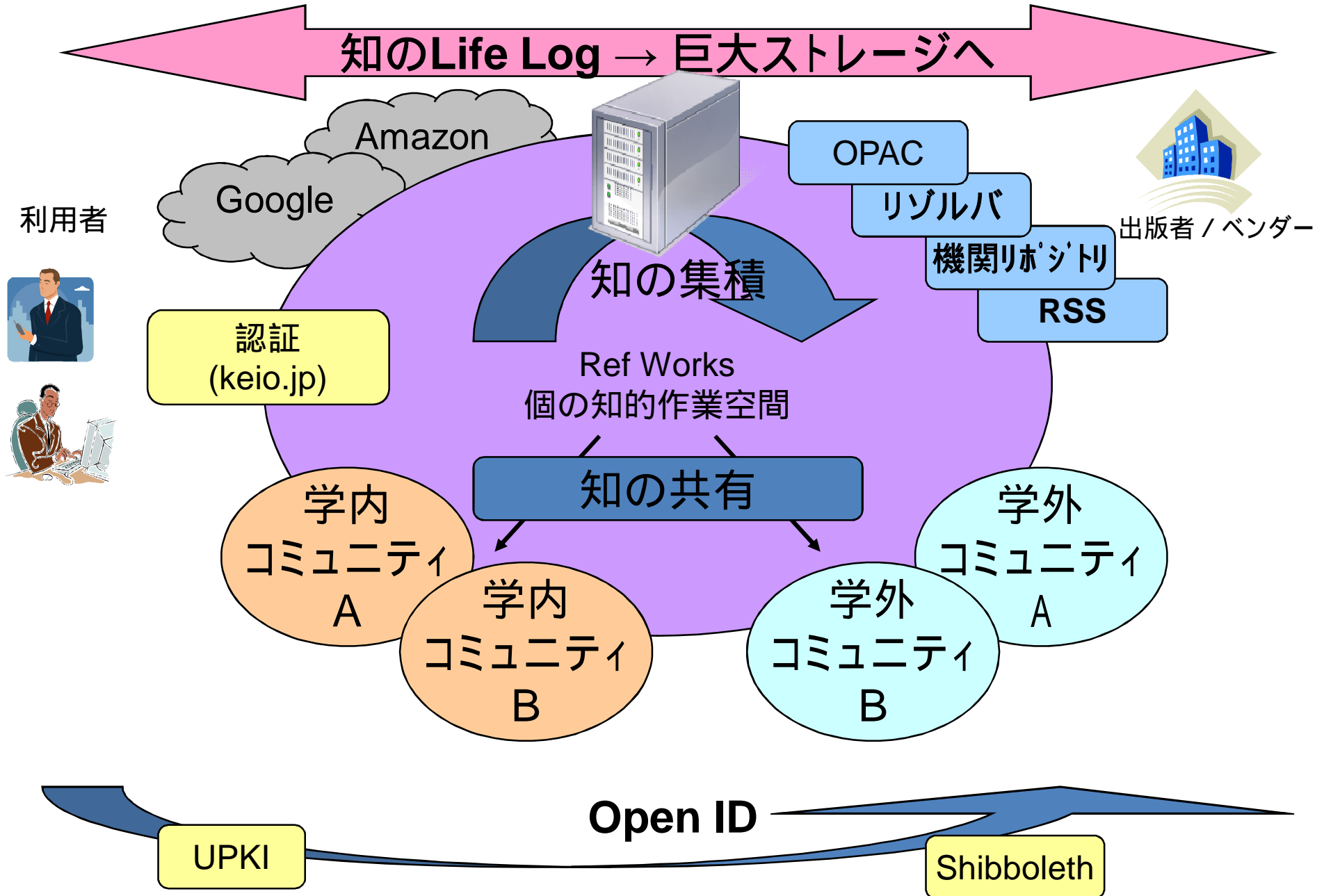
## ■アプリケーション

慶應Mail(WebMail)	図書利用状況照会
教職員お知らせ	教職員イントラ
ソフトウェアライセンス取得	教育支援システム
履修者名簿閲覧	電子ジャーナル/DBアクセス
議事録管理システム	選挙
信濃町経理	新入生のみなさんへ
認証付きストリームサービス	就職・進路支援システム
教育支援システム(学生画面の確認)	健診結果のお知らせ
日吉協生館利用予約(講習会)	

パスワード変更



期待される図書館サービス～全てを認証の中へ閉じ込め、そして広げる



## 今後の課題



- 認証システム（SSO）のオープン化と拡充
  - Keio.jp > Shibboleth > OpenID
  - ケータイやスマートフォン対応
- デジタル化環境の整備
  - 限られた予算範囲でどのコンテンツにフォーカスするか？
  - 巨大データのストレージをどこに求めるか？
- 学内外のコミュニティへの働きかけ
  - 知の活性化と共有のためのリソースの再配置
  - eリソースのILL（相互貸借）
- PULCを始めとしたコンソーシアムの役割の見直し
  - 加盟館を増やすだけでなく、価格交渉やサービス戦略を練る場に
- 出版社、DBベンダーの理解と契約の簡素化
  - グレーゾーン利用者への踏み込み